

平成 29 年度
神奈川県不登校対策自然体験活動事業
事業計画書

神奈川県立足柄ふれあいの村
(指定管理者 足柄グリーンサービス・関東学院 グループ)

<もくじ>

平成 29 年度 神奈川県不登校対策自然体験活動事業	2
・ 事業のねらい	
・ 運営方針	
1 不登校児童・生徒対象の自然体験キャンプについて	3
2 運営スタッフの配置について	7
3 安全管理体制について	9
4 参加児童・生徒及び保護者との教育相談について	11
5 参加受付について	11
6 参加者の保護者及び関係機関との連絡調整について	11
7 広報について	12
8 不登校対策に関する調査研究業務について	13
9 事業実施報告について	13

§ 事業のねらい

本事業は、神奈川県の不登校対策の一環として実施するものです。

不登校の状態にある、あるいは学校を休みがちな児童・生徒を対象に、日常を離れ、豊かな自然環境の中で様々な状況の児童・生徒とふれあい、体験活動を行うことにより、自分自身と向き合い、自らが学校生活の再開や社会的自立等、現状の改善に向けた次の一步を踏み出せるようサポートを行います。

§ 運営方針

足柄グリーンサービスが有する自然体験活動や野外教育事業（プロジェクトアドベンチャー）の専門的知識や技能、関東学院の学術的知見やネットワークを最大限に活用した事業運営を行います。

- (1) きんたろうキャンプでは、ア. 不登校児童・生徒とその保護者を対象とした家族向けキャンプ、イ. 不登校児童・生徒を対象とした児童・生徒向けキャンプを実施します。
 - ア. 「家族向けキャンプ」については『きんたろう親子キャンプ』と題して、日帰り型・宿泊型のプログラムを開催します。
 - イ. 「児童・生徒向けキャンプ」については『きんたろうキャンプ』と題して、1泊2日から4泊5日まで活動期間を設け、日常では体験することの出来ない多彩なプログラムを実施します。
- (2) 自然体験活動の機会の提供にあたっては、臨床心理士などの有識者に協力を求め、児童・生徒に対しては「自分自身に対する向き合い方」「他者との関わり方」などの意識や感情に寄り添った支援を行うとともに、保護者に対しては児童・生徒との関わりに対する相談機能を設けることや保護者同士の交流の機会などを用意しながら、現状の改善にむけた取り組みを行います。
- (3) 県内にある教育支援センター（適応指導教室）の活動に対するサポート機能を充実させ、自然体験活動や野外教育の知識や技能の提供、実際のキャンプの指導・運営についても積極的に応じることとします。
- (4) 不登校問題に関わる様々な機関や団体などと連携を取りながら、自然体験活動を軸とした不登校問題への取り組みを広く発信していくとともに、不登校問題に関する情報収集や動向の調査などにも力を入れ、事業展開に反映させていきます。さらに、大学生などによるボランティアなども意欲的に受け入れ、プログラムの充実や不登校問題に携わる人材育成にも力を入れます。
- (5) 更なる事業展開・活動の機会提供に向け、中学卒業後や高校卒業後の参加者を対象とした職場体験やボランティア活動の場、参加者相互の交流の機会（同窓会）などの開催を視野に入れた、キャンプ参加者の継続的な支援を行います。

1 不登校児童・生徒対象の自然体験キャンプについて

(1) 年間スケジュール (全 26 回 定員 485 人)

◆きんたろうキャンプ (一般公募者対象 全 20 回 定員 365 人)

	実施日			対象	会場
	開始日	終了日	泊数・日数		
1	4月29日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	足柄ふれあいの村
2	5月13日(土)	5月14日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	足柄ふれあいの村
3	6月17日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	藤沢市内野外活動施設(調整中)
4	7月16日(日)	7月17日(月)	1泊2日	児童・生徒及び親子	足柄ふれあいの村
5	7月27日(木)	7月28日(金)	1泊2日	児童・生徒	足柄ふれあいの村
6	8月5日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	江ノ島ヨットハーバー(調整中)
7	8月20日(日)	8月23日(水)	3泊4日	児童・生徒	足柄ふれあいの村
8	9月23日(土)	9月24日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	足柄ふれあいの村
9	10月7日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	東京農業大学(調整中)
10	10月11日(水)	10月14日(土)	3泊4日	児童・生徒	三浦ふれあいの村
11	11月4日(土)	11月5日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	足柄ふれあいの村
12	11月17日(金)	11月21日(火)	4泊5日	児童・生徒	足柄ふれあいの村
13	12月2日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	足柄ふれあいの村
14	12月15日(金)	12月17日(日)	2泊3日	児童・生徒	足柄ふれあいの村
15	1月14日(日)	1月17日(水)	3泊4日	児童・生徒	足柄ふれあいの村
16	1月27日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	関東学院大学(調整中)
17	2月12日(月)	2月16日(金)	4泊5日	児童・生徒	足柄ふれあいの村
18	2月24日(土)	2月25日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	足柄ふれあいの村
19	3月10日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	関東学院大学(調整中)
20	3月17日(土)	3月18日(日)	1泊2日	児童・生徒	足柄ふれあいの村

◆ふれあいキャンプ (教育支援センター対象 全 6 回 定員 120 名)

	実施日			対象	会場
	開始日	終了日	泊数・日数		
21	5月19日(金)	—	日帰り	児童・生徒及び教職員	足柄ふれあいの村
22	6月1日(木)	6月2日(金)	1泊2日	児童・生徒及び教職員	足柄ふれあいの村
23	6月30日(金)	—	日帰り	児童・生徒及び教職員	三浦ふれあいの村(調整中)
24	10月5日(木)	10月6日(金)	1泊2日	児童・生徒及び教職員	愛川ふれあいの村
25	10月26日(木)	10月27日(金)	1泊2日	児童・生徒及び教職員	足柄ふれあいの村
26	11月30日(木)	12月1日(金)	1泊2日	児童・生徒及び教職員	愛川ふれあいの村

◆教育支援センター支援事業

教育支援センターとの連携を深める上で、教育支援センターからの要望により、教育支援センターやその付近において、体験活動を提供やプログラム指導等を行います。

(2) 各回の内容等

◆親子向けプログラム

【日帰りキャンプ】『きんたろう親子デイキャンプ』（全7回／各回定員20名）

日常とは異なる活動（キャンプ）に参加するきっかけづくりとして、1)児童・生徒に対しては興味・関心を促すようなプログラムを展開するとともに、2)児童・生徒の保護者に対しては、活動を楽しみながらも保護者自身がリフレッシュできる場、他の保護者やスタッフとの交流・情報交換の場を設けます。

	実施日	内容	会場
①	4月29日（土）	アウトドアクッキング等	足柄ふれあいの村
②	6月17日（土）	アウトドアクッキング等	藤沢市内野外活動施設（調整中）
③	8月5日（土）	マリンスポーツ体験等	江の島ヨットハーバー（調整中）
④	10月7日（土）	乗馬体験等	東京農業大学（調整中）
⑤	12月2日（土）	アウトドアクッキング等	足柄ふれあいの村
⑥	1月27日（土）	大学探検等	関東学院大学金沢八景キャンパス（調整中）
⑦	3月10日（土）	大学探検等	関東学院大学金沢八景キャンパス（調整中）

※各回、必要に応じてスタッフによるキャンプの説明及び臨床心理士による保護者との面談を行う。

※参加費：①②③⑤1,000円／1名、④⑥⑦500円／1名（材料費、保険料含む）

【宿泊キャンプ】『きんたろう親子キャンプ』（全5回／各回定員20名）

宿泊を伴うキャンプ活動を通して、1)児童・生徒に対しては「キャンプに参加する仲間」「日常から離れる時間」「日常とは異なる空間（場所）」を効果的に組み合わせながら、キャンプに参加することの楽しさや面白さを体感的にとらえられるような機会を提供します。また、2)児童・生徒の保護者に対しては「保護者自身のリフレッシュの場」「保護者同士の情報共有の場」「臨床心理士など有識者を交えての意見交換や学びの場」といった場面を設けます。さらに、1)2)通して『きんたろうキャンプ（児童・生徒対象）』へつながる足掛かりを築いていきます。

	実施日	内容	会場
①	5月13日（土）から 5月14日（日）まで	農業体験／アウトドアクッキング 野外ゲーム／保護者交流会など	足柄ふれあいの村 及びその周辺
②	7月16日（日）から 7月17日（月）まで	農業体験／アウトドアクッキング クラフト／保護者交流会など	足柄ふれあいの村 及びその周辺
③	9月23日（土）から 9月24日（日）まで	農業体験／アウトドアクッキング ／保護者交流会など	足柄ふれあいの村 及びその周辺
④	11月4日（土）から 11月5日（日）まで	農業体験／アウトドアクッキング ／保護者交流会など	足柄ふれあいの村 及びその周辺
⑤	2月24日（土）から 2月25日（日）まで	農業体験／アウトドアクッキング スポーツ体験／保護者交流会	足柄ふれあいの村 及びその周辺

※各回、臨床心理士による保護者相談会を実施予定。

※参加費：3,300円／1名（食費・寝具代・材料費・保険料などを含む）

◆児童・生徒向けプログラム

1泊2日から4泊5日までの多様なプログラムを展開する中で、参加する児童・生徒が「自ら考え、判断し、行動する」ことができる場面を提供します。その中で児童・生徒が 1)自分自身 2)共に活動する仲間 3)キャンプを通して経験する新たな体験 4)自然環境に対して興味・関心を持ち、多様な活動を通して『生きる力を動かす（揺さぶる）』機会を提供します。

【1泊2日】『きんたろうキャンプ2デイズ』（全2回／各回定員20名）

「キャンプに参加する仲間」「日常から離れる時間」「日常とは異なる空間（場所）」を効果的に組み合わせながら、キャンプに参加することの楽しさや面白さを体感的にとらえられるような機会を用意します。

	実施日	内容	会場
①	7月27日（木）から 7月28日（金）まで	アウトドアクッキング／川あそび 夜の森体験 など	足柄ふれあいの村 及びその周辺
②	3月17日（土）から 3月18日（日）まで	アウトドアクッキング／ メモリアルクラフトづくり など	足柄ふれあいの村 及びその周辺

※参加費：各回3,300円（食費・寝具代・材料費・保険料などを含む）

【2泊3日】『きんたろうキャンプ3デイズ』（全1回／定員20名）

日常では体験する機会の少ないプログラムに取り組みながら、1)活動そのものに参加できていること、2)それらの活動に自主的・主体的に取り組んでいることを体感できるような場面を提供します。

	実施日	内容	会場
①	12月15日（金）から 12月17日（日）まで	アウトドアクッキング／ナイトプログラム／クラフト など	足柄ふれあいの村 及びその周辺

※各回最終日に保護者を対象に活動報告会を実施予定。

※参加費：各回5,800円（食費・寝具代・材料費・保険料などを含む）

【3泊4日】『きんたろうキャンプ4デイズ』（全3回／各回定員15名）

児童・生徒がキャンプ活動を自主的・自発的に取り組んでいることを体感できるような働きかけを行うとともに、それぞれの活動を「与えられた体験」としてではなく、「自らが取り組むべき課題」として意欲的に取り組み、キャンプを「学びの時間・学びの場」となるよう支援を行います。

	実施日	内容	会場
①	8月20日（日）から 8月23日（水）まで	アウトドアクッキング／リバーハイク （プランニング～活動の実際） など	足柄ふれあいの村 及びその周辺
②	10月11日（水）から 10月14日（土）まで	ビーチプログラム・マリンプログラムの 体験／高等学校見学 など	三浦ふれあいの村 及びその周辺
②	1月14日（日）から 1月17日（水）まで	アウトドアクッキング／冒険アスレチック体験	足柄ふれあいの村 及びその周辺

※各回最終日に保護者を対象に活動報告会を実施予定。

※参加費：各回8,500円（食費・寝具代・材料費・保険料などを含む）

【4泊5日】『きんたろうキャンプ5デイズ』（全2回／各回定員10名）

キャンプを「学びの時間・学びの場」としてとらえ、参加する児童・生徒の興味・関心や学びの意欲などをプログラムに反映させ、参加者主体のプログラム運営を実施していきます。

	実施日	内容	会場
①	11月17日(金)から 11月21日(火)まで	アウトドアクッキング／森の大地祭での「模擬店出店チャレンジ」など	足柄ふれあいの村 及びその周辺
②	2月12日(月)から 2月16日(金)まで	アウトドアクッキング／長距離ハイク(プランニング～活動の実際) など	足柄ふれあいの村 及びその周辺

※各回、初日に保護者相談会、最終日に活動報告会を実施予定。

参加費：各回 11,000 円 (食費・寝具代・材料費・保険料などを含む)

◆ふれあいキャンプ

教育支援センターを対象に、県立のふれあいの村の自然環境を生かした体験活動を通して、児童・生徒の自主性や達成感を養う機会を提供します。また、教育支援センターの教職員の交流を深め児童・生徒の対応方法等の情報交換を行います。

	実施日	内容	会場
①	5月19日(金)	内容は、参加予定の教育支援センターと調整して決定する。	足柄ふれあいの村
②	6月1日(木)から 6月2日(金)まで		足柄ふれあいの村 及びその周辺
③	6月30日(金)		三浦ふれあいの村 (調整中)
④	10月5日(木)から 10月6日(金)まで		愛川ふれあいの村
⑤	10月26日(木)から 10月27日(金)まで		足柄ふれあいの村
⑥	11月30日(木)から 12月1日(金)まで		愛川ふれあいの村

定員：各回 20 名

参加費：①500 円／②④⑤⑥3,000 円／③106 円

◆教育支援センター支援事業

教育支援センターを対象に、ふれあいの村職員や地域で活動する団体(大学、NPO 法人、野外活動団体)等の指導により、様々な体験活動を提供し教育支援センターの活動の充実を図るとともに、ふれあいキャンプへ参加する支援センターが増えるよう新規支援センターの開拓にも努めます。

	実施日	内容
	6月上旬から2月下旬	内容は、参加予定の教育支援センターと調整して決定する。

会場：参加する教育支援センターと協議の上、決定します。

定員：参加する教育支援センターと協議の上、決定します。

参加費：無料(実費徴収)

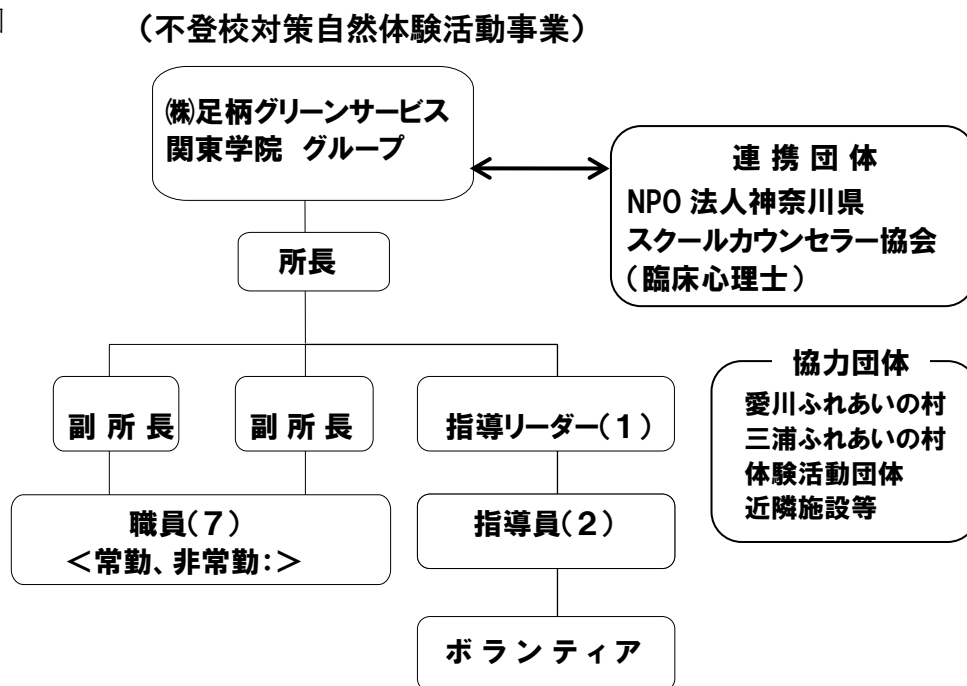
※前年度実績

- ・県央地区：レクリエーション活動(年2回)
- ・愛川町：クラフト指導
- ・二宮町：教室レクリエーション指導

2 運営スタッフの配置について

(1) 年間を通じた運営スタッフ

◆組織体制図



◆キャンプ実施時の人員配置

- ・不登校対策事業担当職員が、原則としてキャンプ中のプログラム指導及び生活指導に携わることとします。スタッフの配置については、キャンプに参加する人数に合わせてスタッフの増員（原則、10人増えるごとに1人増員）を図ります。ただし、キャンプの活動内容や参加者への支援の必要性によっては、更なる職員やボランティアなどを増員することで対応します。
- ・野外での冒険要素の高い活動や、専門性の高い活動を実施する場合には、職員やボランティア以外に外部から活動講師を招き、プログラムの展開をすることとします。
- ・宿泊を伴うキャンプについては2名以上の職員が宿泊し、2回以上の巡回を行うなど、参加者の安全確保に努めます。また、宿直担当者（警備員）とも緊密に連携を取りながら、緊急時・非常時に備えた対応も行います。

(2) 臨床心理士の活用について

不登校対策自然体験活動事業のうち、以下日程において臨床心理士を配置し、参加の児童・生徒及び保護者に対する教育相談等を実施します。

◆臨床心理士の業務内容及び従事日程

- ・キャンプ参加者の行動観察を行うとともに、2泊以上のキャンプにおいて、必要に応じてカウンセリングを行い、参加児童・生徒の心理状態をモニタリングします。
- ・不登校対策事業担当職員及びキャンプスタッフへ参加者（保護者も含む）の対応方法等の指導助言を行います。（20事業33日）
- ・月1回程度、不登校対策事業担当職員との打合せを行い、事前にキャンプ参加者の状況を把握し、参加者の対応方法等の指導助言を行います。
- ・アンケートの集計・分析を行い、事業の有効性を検証します。

※臨床心理士配置日（調整中）

	実施日			対象	臨床心理士等配置日
	開始日	終了日	泊数・日数		
1	4月29日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	4月29日(土)
2	5月13日(土)	5月14日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	5月13日(土) 5月14日(日)
3	6月17日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	6月17日(土)
4	7月16日(日)	7月17日(月)	1泊2日	児童・生徒及び親子	7月16日(日) 7月17日(月)
5	7月27日(木)	7月28日(金)	1泊2日	児童・生徒	7月28日(金)
6	8月5日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	8月5日(土)
7	8月20日(日)	8月23日(水)	3泊4日	児童・生徒	8月20日(日) 8月23日(水)
8	9月23日(土)	9月24日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	9月23日(土) 9月24日(日)
9	10月7日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	10月7日(土)
10	10月11日(水)	10月14日(土)	3泊4日	児童・生徒	10月11日(水) 10月14日(土)
11	11月4日(土)	11月5日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	11月4日(土) 11月5日(日)
12	11月17日(金)	11月21日(火)	4泊5日	児童・生徒	11月17日(金) 11月19日(日) 11月21日(火)
13	12月2日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	12月2日(土)
14	12月15日(金)	12月17日(日)	2泊3日	児童・生徒	12月15日(金) 12月17日(日)
15	1月14日(日)	1月17日(水)	3泊4日	児童・生徒	1月14日(日) 1月17日(水)
16	1月27日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	1月27日(土)
17	2月12日(月)	2月16日(金)	4泊5日	児童・生徒	2月12日(月) 2月14日(水) 2月16日(金)
18	2月24日(土)	2月25日(日)	1泊2日	児童・生徒及び親子	2月24日(土) 2月25日(日)
19	3月10日(土)	—	日帰り	児童・生徒及び親子	3月10日(土)
20	3月17日(土)	3月18日(日)	1泊2日	児童・生徒	3月18日(日)

(3) ボランティアの活用について

教育学、臨床心理学等を専攻する学生を中心にボランティアを募り、本事業の円滑な実施のための支援をしてもらいます。

◆配置・活動計画

参加児童・生徒5名にボランティア1名程度を配置します。

◆広報

関東学院大学を中心に大学間のネットワークを活用して募集します。また、近隣（神奈川県、東京都）の大学の掲示板にボランティア募集ポスター掲示依頼するとともに、各大学が設置するボランティアセンター等を活用し、広くボランティアを募集します。また、法政大学や横浜国立大学など直接事業案内できる大学の新規開拓を目指します。

◆研修計画

研修実施日：平成29年6月24日（土）～25日（日）1泊2日

研修内容：きんたろうキャンプで展開する自然体験活動プログラムのいくつかを実際に体験するとともに、不登校問題に対する理解を深め、キャンプに参加する児童・生徒との関わり方について考える機会を設ける。

- 具体的な活動：①「野外炊事」「野外ゲームやコミュニケーションゲーム」などの体験
②「不登校対策自然体験活動（きんたろうキャンプ）」についての理解
③「課題を抱える児童・生徒との関わり方」についての講義
④「研修のふりかえり・まとめ」

※上記研修実施日以外にも、キャンプの運営や大学などからの要請に合わせ、随時ボランティア研修を行うこととします。

3 安全管理体制について

(1) 傷害保険への加入

本事業に参加する者に対し、以下の保険を付保します。（参加費から充当）

保険種類	対象事業	適用期間
行事(レクリエーション)参加者傷害保険	足柄ふれあいの村で実施する宿泊を伴わない事業	集合から解散まで
国内旅行傷害保険	足柄ふれあいの村で実施する宿泊を伴う事業	住居出発から住居帰宅まで
	足柄ふれあいの村以外で実施するすべての事業	住居出発から住居帰宅まで

補足説明（付保内容、費用等）

<行事（レクリエーション）参加者傷害保険>

[保険金支払い事由]

保険対象者が、行事参加管理下中の偶然な事故により傷害を負った場合に保険金が支払われます。

○死亡保険金	事故日から180日以内に死亡された場合	死 亡 ：3,000千円
○後遺障害保険金	事故日から180日以内に後遺障害が生じた場合	後遺障害 ：3,000千円
○入院保険金	事故日から180日以内に入院された場合、180日を限度	入院日額 ：限度3千円

○手術保険金	入院保険金が支払われる場合で、事故日から 180 日以内に手術を受けた場合	通院日額 : 2 千円
○通院給付保険金	事故のため、通院による医師の治療を受けた場合で事故日より 180 日以内通算 90 日以内	

保険料	106 円
-----	-------

<国内旅行傷害保険>

施設が主催する、宿泊を伴う行事に参加する者で、かつ参加者が行事に参加することを目的として、住居を出発して住居に到着するまでの旅行行程中の事故により、次の保険金が支払われます。

○死亡保険金	事故日から 180 日以内に死亡された場合	死 亡 : 3,000 千円 後遺障害 : 3,000 千円 入院日額 : 限度 3 千円 通院日額 : 2 千円
○後遺障害保険金	事故日から 180 日以内に後遺障害が生じた場合	
○入院保険金	事故日から 180 日以内に入院された場合、180 日を限度	
○手術保険金	入院保険金が支払われる場合で、事故日から 180 日以内に手術を受けた場合	
○通院給付保険金	事故のため、通院による医師の治療を受けた場合で事故日より 180 日以内通算 90 日以内	

保険料	1 泊 2 日まで	3 泊 4 日まで	6 泊 7 日まで
	196 円	236 円	277 円

(2) 安全確保に関する参加者への依頼事項について

参加者の心身の健康に配慮し、以下の事を実施します。

- ・参加相談（本事業を担当する職員による事前相談）
- ・きんたろうキャンプ初参加者に対しては、親子向けキャンプからの参加を促す。
※原則としては親子向けキャンプから参加することを促し、キャンプ中は児童・生徒の様子の観察や保護者との面談などを行い、以後の参加に向けての下地づくりを行う。
- ※児童・生徒向けキャンプの参加にあたっては、親子キャンプの様子や児童・生徒の心理的負担などを考慮した上で受け入れを行うが、キャンプへの門戸を広げるためにも、保護者との電話相談や面談、児童・生徒の希望なども踏まえ、柔軟な対応を心がける。
- ・参加個人カードや健康記録表などによる記述による現状把握。
※記載内容によっては、随時電話確認などを行い、参加者の心身の状況などの把握に努めます。
- ・参加承認書の提出
※参加者が所属する学校に対し、承認書の作成を依頼します。
- ・事前アンケートの実施

(3) 危機管理体制について

参加者の安全管理のため、以下の体制を構築します。

- ・救急救命講習の受講義務（年 1 回の受講を最低とする）
- ・無線機の携帯
- ・緊急車両の配置（足柄ふれあいの村の公用車を緊急時に使用）
- ・近隣病院との連携構築、休日・夜間診療所の把握
- ・「保健安全管理に関する対応について」の再整備によるスタッフの共通理解と適切対応の徹底

4 参加児童・生徒及び保護者との教育相談について

本事業に従事する臨床心理士による参加児童・生徒及び保護者との教育相談を行います。

◆対象事業

- ・児童・生徒（2泊以上）※必要に応じて実施します。
- ・保護者（親子ワンデイキャンプ・親子ワンナイトキャンプ）

5 参加受付について

本事業の参加希望者に対し、以下の手順で参加受け付けを行います。

- ① 足柄ふれあいの村への、電話による申込み
 - ・参加希望事業の確認と概要説明
 - ・参加児童・生徒についてのヒアリング
- ② 関係書類の発送
 - ・年間事業案内（リーフレット）
 - ・参加案内（申込みされたキャンプの詳細）
 - ・参加承認書（学校作成）
 - ・参加申込みカード
 - ・事前アンケート
 - ・参加確認書（内容を確認し、参加申込みカードへ署名、押印が必要）
- ③ 関係書類の返送受理
 - ・参加承認書（学校作成）
 - ・参加申込みカード
 - ・参加確認書
 - ・事前アンケート
- ④ 入金確認
- ⑤ 提出書類の記載内容の確認
 - ・返信書類の内容を確認するとともに必要に応じて、参加者保護者などに内容確認の連絡をおこなう。
- ⑥ 事業当日

6 参加者の保護者及び関係機関との連絡調整について

本事業に係る連絡調整・参加者受付などのため、専用電話、電子メールアドレスを確保します。

◆連絡先

足柄ふれあいの村 不登校対策事業担当

TEL：0465-72-2040

FAX：0465-72-2013

電子メール：kintaro@ashigara-fureai.com

※電話受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで（12/28～1/4を除く）

（1）保護者との連絡調整について

- ・通常時（キャンプ実施時以外）は、随時、電話や保護者の状況に応じて対応します。
- ・キャンプ実施時は、足柄ふれあいの村での開催時は前述「6 参加者の保護者及び関係機関

との連絡調整について」に記載の通りとします。

- ・ 足柄ふれあいの村以外でキャンプ・プログラムを実施する時は、指導リーダーに無線機や携帯電話などを携行させ、常時連絡が取れる体制を作ります。
- ・ キャンプ参加者全員の保護者の緊急連絡先を事前に確認し、万一事故等があった場合にも適切・迅速に保護者と連絡が取れるように致します。

(2) 関係機関との連絡調整について

県内の各種学校、教育機関、関係団体、また近隣の協力農家などと随時連絡・連携し、本事業の幅広い周知活動、事業水準向上のための意見交換・連絡連携を行います。

7 広報について

(1) 事業案内の作成・配布について

◆事業案内（リーフレット）の主な内容

- ・ 事業概要／運営方針／キャンプの種類／事業予定／主な活動内容／申込み方法／初日までの流れ／参加にあたって（留意事項） など

◆作成部数

『平成 29 年度 きんたろうキャンプ事業案内』（リーフレット）：10,000 部

『平成 29 年度 ふれあいキャンプ』（事業案内チラシ）：500 部

◆作成スケジュール

平成 29 年 3 月 作成 『平成 29 年度 きんたろうキャンプ事業案内』
『平成 29 年度 ふれあいキャンプ』

平成 29 年 4 月より 配布

◆配布計画等

- ・ 教育事務所
- ・ 神奈川県内 市町村教育委員会
- ・ 教育支援センター（適応指導教室）
- ・ 県内小・中学校
- ・ 県内教育・福祉施設（公立図書館、保健福祉事務所、児童相談所等）

(2) その他

◆ホームページの活用による広報活動

- ・ 足柄ふれあいの村 ホームページ（キャンプ実施情報等を掲載）
- ・ 県立総合教育センター ホームページからのリンク

◆事業概要・効果の説明

- ・ 教育委員会等の関係機関の各種会議での事業説明
- ・ 県内各種学校訪問時や事業参加希望者（保護者）への事業説明
- ・ 神奈川県内の大学の教育学部・心理学部等、青少年センターなど（※ボランティア受け入れに関する説明を含む）

◆その他

- ・ 神奈川県広報紙、新聞等への参加者募集及び実施結果記事掲載依頼
- ・ 神奈川県内の社会教育施設等での事業案内、募集チラシの設置配布

8 不登校対策に関する調査研究業務について

(1) 参加者アンケートの実施について

一般的に野外教育・自然体験活動の領域では、心理的側面（生きる力、自己概念など）や社会的側面（社会的スキル、友人関係など）といった観点で効果を見られることを踏まえ、本事業においても野外教育・自然体験活動が参加者にもたらす効果を調査し、今後の事業に反映させていくとともに、事業の成果を質的・量的に測ることとします。

また、本事業の参加者並びに保護者に対して、「参加者（児童・生徒）自身の意識」についての「自己評価」と「親評価」を調査し、その調査結果を比較検討する中で、親子間の意識の違いや認識の差異を明らかにするとともに、今後のプログラム指導や支援、保護者対応などに反映させていきます。

対象	内容	目的	方法
参加者	参加者へのアンケート調査並びに行動観察による実施事業の効果測定	活動を通して参加者の心理的側面（生きる力、自己概念・自尊感情の向上など）並びに社会的側面（特に他者と関わろうとする対人関係スキル）の変化を把握する	主に児童・生徒向けのプログラムにおけるアンケート調査 事業運営者（きんたろうキャンプスタッフ・臨床心理士など）による事業参加者の活動観察
参加者及びその保護者	「参加者（児童・生徒）自身」についての「自己評価」と「親評価」についての比較調査	「参加者（児童・生徒）自身」について、「自己評価」と「親評価」の2側面から比較調査し、プログラム指導や保護者対応などに反映させる	児童・生徒及びその保護者に対してのアンケート調査

(2) 事業効果の検証について

専門機関（神奈川県スクールカウンセラー協会）と連携し、アンケート調査結果や教育相談等に基づく実施結果等の検証結果を、報告書にまとめ、県内の教育機関等に本事業効果の周知を図ります。

9 事業実施報告について

実施した事業の内容について、月次報告書及び年度報告書を作成し、提出致します。

- ・月例報告書：実施月の翌月 10 日までに提出します。
- ・年度報告書：年度終了後 30 日以内に提出します。